

再評価結果（平成26年度事業継続箇所）

担 当 課：都市計画課

担当課長名：木具 恵

公園名	南部健康運動公園	種別	運動公園	全体計画面積	70.0ha
事業の概要					
南部健康運動公園は、県南地域の活性化に加え、子供からお年寄りまでが、スポーツ・レクリエーションに親しみながら、気軽に健康づくりができることを目的として整備を進めている。 平成19年度に野球場の供用以降、多目的広場やテニスコートなどの施設を順次供用してきた。今後、陸上競技場などの施設を順次整備する。					
事業採択年度	平成12年度	都市計画決定（変更）年度	平成11年度（H12.3.31）		
用地着手年度	平成7年度	工事着手年度	平成12年度		
1. 事業の必要性等					
事業を巡る 社会経済情 勢等の変化	1) 利用圏域内の市街化状況、人口推移、社会経済情勢の特段の変化			有	無
	公園計画区域及び周辺の自然的環境の特段の変化			有	無
	重大な影響のある上位計画の変更			有	無
	重大な影響のある周辺の類似施設の整備状況の変化			有	無
	重大な影響のある関連する他事業等の進捗状況の変化			有	無
	内容			—	
事業の 投資効果	2) 費用対効果分析結果		B / C (2.0)		
	総便益 (B)		(414.7) 億円		
	便益の内訳	直接利用価値	(235.9) 億円		
		間接利用価値(環境)	(74.6) 億円		
		間接利用価値(防災)	(104.2) 億円		
	総費用 (C)		(212.3) 億円		
	感度分析結果				
			B / C		B / C
	公園利用者数及び世帯数	+10% (2.0)	-10% (1.9)		
	残事業費	+10% (1.9)	-10% (2.0)		
残事業期間	+10% (2.0)	-10% (1.9)			
残事業の投資効率性					
継続した場合の便益 415 億円 - 中止した場合の便益※1 400.2 億円 継続した場合の費用 212 億円 - 中止した場合の費用※2 197.9 億円 = 1.0 ※1 「中止した場合の便益」では供用済施設により発生している便益の現在価値を計上 ※2 「中止した場合の費用」では既投資費用+環境保全・安全確保・維持管理に今後必要な費用を加えて、現在価値化した費用を計上					
関係する地方公共団体等の意見					
陸上競技場の早期完成について、地元阿南市や陸上競技協会をはじめとするスポーツ団体から強い要望がある。					
事業の 進捗状況	計画全体事業費	125.0 億円	投資事業費	101.1 億円(進捗率 80.9 %)	
	(うち用地費)	31.6 億円	(うち用地費)	31.6 億円(進捗率 100.0 %)	
	用地確保済面積	70.0 ha (用地確保率100%)	既供用区域面積	10.8 ha (供用面積率15%)	
	未供用の場合、その理由	—			
2. 事業の進捗の見込み					
今後の事業の進捗の予定、目処、及び進捗の見直し					
残る陸上競技場およびアーチェリー場等については、平成32年度までの順次完成を目指している。					
3. コスト縮減や代替案立案等の可能性					
コスト縮減の検討・実施状況	施工時において、再生建設資材の活用や建設発生土の再利用に取り組んでいる。 また、維持管理時に発生する剪定枝等の堆肥化を積極的に行い、リサイクルを推進する。				
代替案の検討状況	—				